



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	Taxonomy and systematics of shallow-water and deep-sea nemerteans (phylum Nemertea) from the western Pacific region [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review]
Author(s)	Abato, Jamael Cadampog
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(理学)
Dissertation Number	甲第16253号
Issue Date	2025-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/95370
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	doctoral thesis
File Information	Jamael_Abato_review.pdf, 審査の要旨



学 位 論 文 審 査 の 要 旨

博士の専攻分野の名称 博士（理 学） 氏 名 Jamael C. Abato

審査担当者	主査	教 授	柁 原 宏
	副査	教 授	小 亀 一 弘
	副査	講 師	角 井 敬 知

学 位 論 文 題 名

Taxonomy and systematics of shallow-water and deep-sea nemerteans (phylum Nemertea) from the western Pacific region

（西太平洋の浅海及び深海ヒモムシ（紐形動物門）の分類学・体系学的研究）

博士学位論文審査等の結果について（報告）

学位論文は全 5 章から構成されており、第 1 章では紐形動物の系統分類学的研究に関する現在の知見が総括されている。

第 2 章は 2023～2024 年にフィリピンのパナイ島とミンダナオ島の潮間帯で実施したヒモムシ相調査の結果が報告されており、申請者らの調査の結果 20 種が発見された。このうち 4 種は既にフィリピンから知られていた既知種、6 種はフィリピン初記録となる既知種であり、残りの 10 種は潜在的に未記載種の可能性があると判断された。本章の一部は既に学術誌上で 1 報の論文として公表されている。本研究によりフィリピン産ヒモムシ類の種数は 8 種から 24 種に増大した。

第 3 章は日本の浅海に分布する単針類の系統分類学的研究が行われており、論文 5 報分に相当する内容となっている。このうち 3 報は既に公表されている。本章では 3 属 13 種が扱われており、そのうち 7 種が新種、2 種が日本初記録種であった。また、1 属 1 種の学名の新組み合わせを提唱している。

第 4 章では 2022～2023 年に実施された海洋研究開発機構の学術研究船「白鳳丸」による調査航海 KH-22-8 と KH-23-5 において日本海溝と千島海溝から採集された深海性ヒモムシ類 30 種に相当する標本 80 点に基づいた系統分類学的研究が行われている。これらは古紐虫綱 2 科 9 種（全て未記載種の可能性）、担帽綱 2 科 7 種（1 科 1 種既知種、もう 1 科の 6 種は全て未記載種の可能性）、針紐虫綱単針目 6 種（含・2 新属 2 新種；1 既知種；他の 3 種は恐らく未記載種）、多針目爬行亜目 1 種（恐らく未記載種）、遊泳亜目 7 種（日本初記録 2 種；既知種 3 種；2 種未同定）であった。本章の内容は現在学術誌に投稿中である。

第 5 章では全体の総括が行われており、形態的な種内変異の程度の大きいヒモムシの分類学的研究における塩基配列情報の重要性について論じられている。

学位論文全体を通じ、申請者は北西太平洋に生息する紐形動物の種多様性に関する知見の増大と体系学的理解の深化に大きく貢献したものと評価できることから、北海道大学博士（理学）の学位を授与される資格あるものと認める。